

渡邊 正人

平政・公明党

新型コロナウイルス感染症対策

【問】 感染拡大の収束がまだ見えない中で、安心した市民生活や経済活動が行えるよう、一般の高齢者向けの個別接種、集団接種がスタートしたが、3回目のワクチン接種の状況と今後の見通しは。

【答】 3回目接種の実績は、2月24日現在で18.2%であり、接種希望の高齢者は3月下旬におおむね完了できる。高齢者以外の方も順次、接種券を発送しているほか、5歳から11歳までの小児接種を開始する予定である。3回目の接種全体をできるだけ前倒しするとともに、小児接種を円滑に進めることで、市全体としてワクチン接種を推し進めたい。

特殊詐欺から高齢者の暮らしを守る対策

【問】 65歳以上の高齢者が狙われるケースが多い、巧妙化する振り込め詐欺などの特殊詐欺に遭わないための対策として、自動通話録音機を無料で貸出ししているが、活用状況と今後の対策は。

【答】 市で現在保有する自動通話録音機13台のうち、6台を貸与しており、これまで延べ43件の実績となっている。年々、巧妙かつ悪質な手口が増えていくことから、今後も関係機関と一層連携を深め、情報提供や啓発活動に取り組むとともに、高齢者以外の方からの相談もあることから、自動通話録音機の周知を図り、貸与対象者を拡大していく。

その他の質問事項

- 当初予算案に対する市長の思いや考えは
- 今後の財政見通しに対する考えは
- 洋上風力発電事業における課題への対応は

伊藤 洋文

希望

天空の不夜城に今後どう取り組むのか

【問】 これまでの天空の不夜城推進事業費の合計額はいくらになっているか。また、市役所旧第4庁舎跡地に天空の不夜城の収蔵庫を整備する構想はどのようになっているか。

【答】 同事業費は、嘉六及び愛季の製作等の委託費、補助金等であり、平成25年度から令和2年度までの合計で約1億7000万円となっている。収蔵庫は、運行の盛り上がりや魅せ方のほか、市民の理解等の課題も指摘されており、この課題克服を最優先と捉え、天空の不夜城協議会とさらなる連携を図りながら、課題の改善等について検討したいと考えている。

中心市街地の活性化をどう描いているのか

【問】 中心市街地は空き家、空き地が数多く、魅力のない寂れた町になった。これからの中心市街地の活性化をどのように描いていくのか。

【答】 のしろ家守舎のマルヒコプロジェクトや地域おこし協力隊の活動、畠町大通りでのイベントにより、中心市街地ににぎわいが創出されてきている。さらに畠町第一地区再開発準備組合が再開発の構想策定に向けて動き出しており、このような取組を支援しながら、官民が連携、協働し、中心市街地の魅力向上に取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 中国木材株式会社への進出に伴う森林整備は
- 能代港湾内の洋上風力の固定資産税収入の見込みは
- 洋上風力の地元還元はどのように取り組むのか

安井 英章

改革ネットワーク（市民の声、シリウス、日本共産党）

除排雪費削減に民間の力を活用できないか

【問】 民間には除排雪のための小型重機が普及している。処理能力が高いため使用時間は短く、軽トラダンプが数台あれば部分的な公道の除排雪もできると考えるが、活用する方法は考えられないか。

【答】 市が民間の小型重機等を利用し、道路の除排雪をすることは業務委託となり、活用する場合に民間の方々には、業者登録から始まる契約手続き、事故やけがに対する保険の加入や事故等における対応の確認、市では、稼働時間の確認方法等クリアしなければならぬ課題が多々あり、除排雪委託に民間の力を活用することは難しいと考えている。

陸上風力発電はプロペラ方式の制約を

【問】 プロペラ方式ではない風車があり、バードストライクが起きにくい、暴風でも運転可能、メンテナンスも容易などの長所がある。発電力が小さいことが短所だが、プロペラ方式を制約すべきではないか。

【答】 風力発電機は、水平軸風車と垂直軸風車に分けられ、垂直軸風車は暴風時でも発電可能など利点はあるが、2000キロワット以上の出力規模の製品は開発途上である。今後、性能が向上し、採算性を確保できる段階で事業計画が示されれば、支援体制を検討していくが、機種は事業者が選定するものと捉えており、プロペラ方式を制約する考えはない。

その他の質問事項

- 経済成長と両立する循環型社会を目指しているか
- 廃棄衣料品回収の回数を増やせないか
- エリートツリーの植樹は考えられているか